

登録コード	F3C15640	開講年度	2026				
授業科目	化学・材料特別演習 II					担当教員	長田 光正 他
英文授業名	Special Exercises in Chemistry and Materials II					副担当	
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 2 Fカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】現代の社会問題を見出し、工学的に解決する能力					⇔	化学・材料に関する専門分野の英語文献の内容について理解し説明できる。
	2 4 Fカリ・化学材料，2 3 Fカリ・化学材料						
	【2023年度以降カリキュラム対象】語学力およびデータサイエンスを活用し、国内外の情報およびデータを収集・処理する能力					⇔	化学・材料に関する専門分野の英語文献の内容について理解し説明できる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】工学的課題に注目し、解決方法を試行する能力					⇔	化学・材料に関する専門分野の英語文献の内容について理解し説明できる。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	化学・材料の研究のためには英語で書かれた多くの文献から情報を得ることが不可欠であり、そのためにはそれぞれの専門分野における文献の内容を正しく理解できる能力が必要である。読解した文献の内容を説明する発表の機会と質疑応答を通じ英語文献を理解する能力を高める。						
(5)授業計画	各研究室の指導教員が個別に決定する。						
(6)成績評価の方法	化学・材料の専門分野における英語文献の内容の理解度で成績評価する。理解度は、文献の内容の発表、その内容に関する質疑応答で評価する。						
(7)成績評価の基準	成績評価は研究室の指導教員が個別に評価する。 基準としては下記のようなことが例として考えられる。 1.文献内容が正確に理解できている。 2.文献内容を的確にわかりやすく紹介できる。 3.文献内容に関する質疑応答に十分対応できる。 1-3の全てが十分できていると評価できる場合：秀、1-3の全てが概ねできている場合：優、1-3の内の1つが不十分である：良、1-3の内の2つが不十分である：可、1-3全てが不十分である：不可						
(8)事前事後学習の内容	事前に文献をよく読み、意味の分からない箇所については専門書等でよく調べておく。また質問を想定しながらわかりやすい発表資料を作成することが必要である。						
(9)履修上の注意	特になし						
(10)質問、相談への対応	各研究室の指導教員が個別に対応する。						
(11)学生へのメッセージ	文献を正確に理解する能力は卒業研究遂行のためばかりでなく、企業や大学院など、どこに行っても必要なものなので、各指導教員の指示に従って真剣に取り組んで欲しい。						
(12)その他							
【教科書】							
【参考書】							